

第2次三次市健康づくり推進計画（素案）に関するご意見とご意見に対する三次市の考え方

令和6年2月13日

部署名：福祉保健部健康推進課

第2次三次市健康づくり推進計画（素案）について、令和6年1月17日から令和6年2月6日まで、三次市ホームページ等を通じてご意見を募集したところ、4通（延べ6通）のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見と、それらに対する三次市の考え方について、以下のとおり取りまとめましたので、ご報告します。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見のうち、同趣旨のものは適宜集約し、また、パブリックコメントの対象となる事項についてのみ考え方を示させていただきます。

今回、ご意見をお寄せいただきました方々のご協力に厚く御礼申し上げます。

番号	素案の項目	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
1	母子保健計画	周囲に親族や友人など誰もいない状況で不安であったが、三次市の子育て支援制度のおかげでとても楽しく育児することができている。これからも子育て支援の制度を継続してもらいたい。	1	親子が安心して子育てしていくためにも、地域の身近な相談場所や気軽に集える場所の周知や活動を継続して行っていく必要があると考えています。また、必要な方へ適切に支援がにつながるよう事業の周知を図り、安心して子どもを産み育てる環境づくりに取組みたいと考えています。
2	自殺対策計画	今後の取組の中に、三次市の職員が市民の模範となるような目標設定をしてはどうか。働く世代の睡眠による休養は仕事・残業の時間と相関があると思う。市職員もワークライフバランスを考慮した働き方改革を市民の手本になって行ってもらいたい。	1	ご意見の通り、健康に関するアンケート調査の結果においても働く世代の15～64歳の女性、40～64歳の男性で睡眠による休養が十分にとれていない状況があります。市役所職員のこころの健康づくりのためのワークライフバランスについては「三次市特定事業主行動計画」で取組み、「第2次三次市健康づくり推進計画」との整合性について、担当部署と連携を図ります。

番号	素案の項目	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
3	自殺対策計画	ひきこもりの相談窓口は、広島県北部保健所と三次市健康推進課の2か所が現状となっている。障害福祉サービスがからむ場合は、相談窓口として障害福祉計画に關与する部分がある。しかし、福祉の面以外で全体的な視点からの相談窓口から考えてみると、既存の相談窓口の兼ね合いなどから健康増進計画の範疇になると思う。 今回の計画の項目の中には該当しないため、新たな追加項目として、引きこもりの窓口の明記を設置してほしい。	1	計画の中では、これまでの取組として「ひきこもりに關する相談窓口を明確化したこと」について記載していますが、今後の取組では、「こころの健康づくり」として包括しています。ご意見を踏まえ、相談窓口の周知を図っていくことを、今後の取組に追記します。
4	自殺対策計画	自死を選んだ理由の背景には、8050問題が深刻化していることも原因があるのではないかと思う。支援が繋がれば良いと思っても社会と繋がっていない、繋がろうとしない人達は孤立するばかりで大変難しい。ネットワーク作りでは、細部にわたり行き届くように常会未加入者の所にも、チラシ等案内の配布をする必要があると思う。	1	ご意見の通り、自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景があり、様々な要因が連鎖する中で起きています。横断的な対応が求められることから、各関係機関と連携し、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、地域づくりを含めたネットワークを推進していく必要があると考えています。
5	母子保健計画	妊娠期から子育て期へつながる支援の推進では、母子保健手帳交付者の際に同意が得られる人の情報は、母子保健推進員へも繋げてもらいたい。	1	親子が安心して子育てしていくためにも、母子保健推進員をはじめ、保健所や学校、関係団体等、身近な地域と連携し、地域で見守りを推進していく必要があると考えています。引き続き、母子保健推進員の活動が充実し、地域の子育ての応援体制につながるよう、支援を行っていききたいと考えています。
6	全般	健康づくりサポーターやウォーキングマイスターなど、用語説明にあった方が活動内容が分かりやすいのではないか。	1	ご意見の通り、用語説明に追記します。

#### 【連絡先】

部署名：福祉保健部健康推進課

住所：広島県三次市十日市中二丁目8番1号

電話：0824-62-6257

FAX：0824-62-6382

電子メール：kenko@city.miyoshi.hiroshima.jp